

五月十日晴

一父要参電第百四一第

海隆丸ニ

「海隆丸出港ニ関シ守品船始輸送司令部ニ左ノ如ク打電セリ」

関スル件

海隆丸(三八二)本十日左記ノ通り搭載終了ス

出帆日時十三日。七。〇。ノ豫定(東京向ケ出帆途中八丈

島ニ軍大ヲ下船セシムル爲寄港ス)十七日早朝入港ノ

豫定ナリ

左記

彈藥及信管

三四八九梱

空樽(糧秣関係)

六九二梱

ビール其ノ他空壇

四七八梱

軍人軍夫東京府労務者等 七四名(内軍大一九名八八丈

島ニ下船)

地区隊長

二東軍参電第百一三第

ニ関スル件

「陸軍重砲兵學校要塞地工隊長學生トシテ高瀬一雄少

佐(片山少佐ノ交代者)ヲ分遣スルコトニ定メラル

高瀬少佐ヘハ傳達済

防衛報告

三本十日父島要隘管区内防衛上異状ナシ

娛樂并ニ

四東部軍参編電第百二〇第

関スル件

「十五日出帆芝園丸ニテ洲崎、吉原ヨリ女各十名宛附屬

人員十名合計三十名貴地ニ到ル一應到着後、貴地

址ニ爾後ノ娛樂場ニ関スル件ハ貴部ニ於テ業者ヲ指

導セラレ度

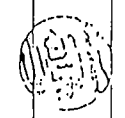
五健脚部隊競走訓練規定ヲ別冊ノ通り各隊ニ配布ス

略脚電報

六發信電報 五通

發着信

若信電報 四通



18